16～21㎜厚品 1.5尺×6尺 EX	下　地	留付方法	張り方向	木胴縁組
	木造軸組下地	金具	横	縦胴縁 @455㎜

3）基本構成図・下地組図　　1．5尺×6尺

●通気土台水切は胴縁組みを行う前に取り付け、防水紙を上にかぶせて施工します。
●入隅部や出隅部などで胴縁が躯体に留め付けられない場合は、追加下地を設け、必ず下地に留め付けるようにします。
●下地組みは図のように木胴縁を使用し、スギ材は厚み18㎜以上、ベイツガ材は厚み15㎜以上の乾燥材を使用します。
●木胴縁の幅は45㎜以上を標準サイズとし、左右接合部、出入隅部、開口部まわりなどの指定箇所には倍幅の90㎜以上を使用します。
●木胴縁はN65、CN65以上の釘またはφ3．8㎜×50㎜以上の木ビスを用いて500㎜以下の間隔で躯体に留め付け、仕上げ面の不陸（段差）が3㎜以下となるように調整して施工します。
●縦胴縁と開口部まわりは30㎜程度の隙間を設け、通気する構造とします。
●積雪地域では、積雪の高さまで補強胴縁を取り付けます。

